

2010年4月10日
美香子ちゃんを救う会

美香子ちゃんの臓器移植手術成功の報告について

○4月9日（現地日付8日）、美香子ちゃんの小腸・大腸移植手術等が行われ、無事成功いたしました。

○全国の皆様の真心あふれるご支援・ご協力に心より感謝申し上げます。

○小腸治療への保険適用実現へ向けた世論の喚起、国民的議論を！

【概要】

2010年4月9日（金）（現地日付4月8日）、コロンビア大学プレスビテリアン病院よりドナーが見つかったとの連絡が入り美香子ちゃんは手術の為、病院に向かいました。その後、肝小腸移植外科部長の加藤友朗医師の執刀で約8時間の手術が行われ、4月10日（土）午前2時（現地日付4月9日午後1時）無事移植手術が終了しました。

ドナーの方のご冥福を心よりお祈りするとともに、ドナーのご家族の方に心より感謝申し上げます。また、これまでご支援してくださった全国の皆様に心より御礼申し上げます。

加藤医師からは「手術はパーフェクトでした。小腸は拒絶反応が一番大きな臓器なので、大変なのはこれからです。しかし、手術が成功したことは第一段階はOKということです」とのことでした。

手術の内容は、小腸・大腸移植、胆のう・盲腸の摘出、胃を食道の周りに巻いて吐くのを抑える手術、人工肛門2つの造設、胃ろうのチューブを太くするという処置を行いました。

術後の経過はとても良好で、もうすでに小腸の人工肛門に便がたまっているのでびっくりしたことを両親が医師に伝えると「私たちもびっくりしています。移植した小腸がもう動いているということです」と言われたそうです。

「美香子ちゃんを救う会」一同、今後の回復と帰国に向けて、引き続き支援活動を行ってまいります。

今後ともご支援の程、宜しくお願い申し上げます。

【病状等の経過について】

東京都渋谷区出身の古谷 信一（ふるや しんいち、33歳）さんと妻古谷 香代子（ふるや かよこ、33歳）さんの娘、古谷 美香子（ふるや みかこ、1歳4ヶ月、以下「美香子ちゃん」という。）ちゃんは、2008年11月14日に生まれ、生後1週で「ヒルシュスプルング病」と判明し、口からの栄養摂取がまったくできない状態であったため、生後2週で7時間の緊急全身麻酔手術を行って、胃瘻（いろう）と人工肛門を造設しました。医師からは余命6か月との診断を受けていましたが、東京医科大学病院での懸命な治療と本人の強い生命力で、中心静脈栄養によって着実に体重を増やすことができました。当初、生体移植（母親の小腸）を目指していましたが、大人の臓器は大き過ぎて入らないため断念し、また、肝硬変が進行し、敗血症等感染症の可能性も高く、国内で15歳未満の子どもからの臓器移植手術が可能となる今年7月まで待つことができない状況であったため、海外での臓器移植を決断したものです。

【今後について】

今後、7月の改正臓器移植法の施行により、国内での臓器移植という方向に流れが大きく傾いていくかと思われませんが、他の多くの臓器には保険適用があるところ、小腸治療には保険が適用されません。小腸移植は手術も難しい上、その後のケアもたいへん難しいと言われており、移植手術成功・帰国後も免疫抑制剤等の処方が必要ですが、そのためには月数十万円の医療費が必要となります。

2009年9月29日に小腸移植への保険適用実現に向けた取組みを行うよう、石原慎太郎都知事あてに陳情書を提出し（佐藤広副知事面会）したところですが、今後も小腸治療への保険適用実現へ向けた世論が喚起され、各行政庁の迅速な対応が促されることを心より願っています。

■ 問い合わせ先 ■

美香子ちゃんを救う会 代表 中岡 洋一

Mail: info@mikako-bokin.com

URL: <http://mikako-bokin.com/>